



この地球上で、この場所で こうして出会えた奇跡に感謝 こうしてかかわり合うことが できる縁を大事にしましょう 平戸市立大島中学校 令和2年度学校だよりNo15 令和2年12月4日 文責 校長 吉尾直樹

## -人一人の個性をみんなで共有できる学校に 12月3日 生徒会役員選挙

12月3日の生徒会役員選挙の立会演説会では、これからの大島中学校を担う1・2年生がそれぞれの公約を熱く訴えました。その中では、「みんなで」「仲間」「協力」「助け合い」といったキーワードが多く語られ、互いを尊重し、認め合う集団にしたいという思いが伝わってきました。また、そのためにこ

うした取り組みが有効ではないかといった具体的な提案も多く あり、この大島中学校をよくしたいという意欲が感じられました。選挙の結果、会長は阿立桃さん、副会



長は丸田一仁くん、書記は山口紗瑛フェイスさん、庶務は1年の川下智久くんが選ばれました。阿立さんが公約で掲げた「一人一人の個性をみんなで共有できる学校」になるために、新しい生徒会がどのような取り組みを行うか、これからが楽しみです。

## ふるさと大島への思いを形に表しました 12月3日 子ども県展受賞作品決定

第66回長崎県小・中学校児童生徒美術作品展「子ども県展」の 受賞作品が決まりました。本校は、昨年度の特別賞3作品の入賞に続き、今年度はデザイン部門で3年の 白石翼くんが作成した「地域の特性を生かした包装紙」が知事賞を獲得しました。また、2年の山口紗瑛

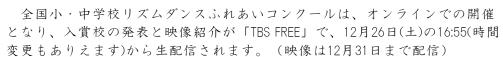
フェイスさんがデザイン部門で、同じく2年の豊岡莉子さんが 立体部門で特選に入賞しました。さらに、1年の阿立空河く ん、北原夕瑞さん、山口茉白さん、2年の阿立桃さん、豊岡莉 子さん、丸田一仁くん、山口紗枝フェイスさん、3年の白石恵 夢くん、村井陽郁さん、山川愛美さんが入選しています。この



少ない生徒数でこれだけの入賞を獲得するのはとても素晴らしいことです。 おめでとうございます。

また、他の3年生

が作った地域の特性を生かした包装紙もとても魅力的で、ふるさと 大島、そしてふるさと平戸への愛情が伝わってきました。



今年度は、感染予防のため10名以下のグループでダンスをして、全グループの平均点がその学校の得点となる仕組みとなっています。そのため、22名全員で一緒に踊ることはできず3つの班で踊りますが、気持ちは全校生徒が一つとなって、「OVER~最後まであきらめず、限界を超えろ!~」を合言葉



に精一杯の演

技を披露します。子どもたちの姿をぜひご 覧ください。

